２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	関係法規・制度	必修	単位	１単位	時間数	30時間
担当者	原　泉里	実務経験	無	1年次：30回(1学期のみ)		

授業の概要	美容師法と関係法規との関連
履修ポイント	法律を守る意味を知り、安全かつ衛生的に業務を実践し、公衆衛生に貢献する
学習の目的	免許の意義、業務の適正化の理解
学習の目標	文章、条文の理解
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書
成績評価	各学期末テスト

授業計画　【関係法規・制度】１年

回	項目	授業内容	備考
1～2	法律の概要	法の役割・形式・衛生法規	
3～4	衛生行政の概要	衛生行政と保健所について	
5～6	美容師法	目的、用語の定義	
7～8	人に関する規定	養成施設、試験	
9～10	〃	免許	
11～12	〃	美容師の義務	
13～14	〃	免許変更手続き、管理美容師	
15～16	履修確認	テスト	
17～18	施設に関する規定	開設届、検査確認	
19～20	〃	衛生措置、立入検査	
21～22	行政処分・罰則	不利益処分、両罰規定	
23～24	関連法規	運営、衛生、消費者保護関連	
25～26	美容師法の歴史	歴史	
27～28	まとめ	全体のまとめ	
29～30	履修確認	テスト テストの回答・解説	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	衛生管理（消毒）	必修	単位	1単位	時間数	３０時間
担当者	小川　恭右	実務経験	無	30回		

授業の概要	教科書に従い授業を行う 適宜、ワーク、練習問題により習熟度を把握する 学期末には国家試験に対応した試験を実施する
履修ポイント	各種消毒方法の特徴、消毒薬の希釈法及び使用方法、美容所での消毒の実際等について学習し、理解を促す
学習の目的	美容業務における消毒の重要性について理解することで、美容業務における感染症の発生を防止できる知識を習得させる
学習の目標	消毒方法ごとの特徴を理解し、消毒薬の希釈方法をはじめとする使用方法について把握することで、国家試験に対応できる知識を身につける
教科書及びその他の教材	（公社）日本理容美容教育センター教科書『衛生管理』 ワークブック等
成績評価	期末試験、授業評価、確認テスト

授業計画　【衛生管理（消毒）】１・２年

回	項目	授業内容	備考
1～3	消毒法総論	消毒とは 消毒の意義 美容の業務と消毒の関係 消毒法と適用上の注意	1年 3学期
4～7	消毒法各論	理学的消毒法（殺菌方法） 化学的消毒方法（殺菌法） 優れた消毒法とその実施上の注意	
8	消毒法実習	試験	
9	ワーク	試験解説	
10～16	消毒法実習	各種消毒薬 理容所・美容所の消毒の実際 理容所・美容所の清潔法の実際	2年 2学期
17		ワーク	
18～21	理証書・美容所における 衛生管理要領	第1 目的～第4 衛生的取り扱い等 第5 消毒～第6 自主管理体制 理・美容所の自主管理点検表	
22		試験	
23		試験解説	
24～28		国家試験対策授業	2年 3学期
29		試験	
30		試験解説	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	衛生管理（公衆衛生）（感染症）	必修	単位	2単位	時間数	６０時間（2年間）
担当者	原　泉里	実務経験	無	1年次：30回　2年次：30回		

授業の概要	健康を考える 安全を考える
履修ポイント	健康を保つ大切さと自身だけのことではなく広く国民の健康と影響を考える
学習の目的	公衆衛生の理解 感染症の知識を持つ
学習の目標	自分の体を通して公衆衛生を理解する
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書
成績評価	各学級末テスト 小テスト

授業計画　【衛生管理（公衆衛生）】１年

回	項目	授業内容	備考
1～2	公衆衛生の概要	意義と課題	
3～4	〃	発展の歴史	
5～6	〃	消毒法の歴史 美容師と公衆衛生	
7～8	〃	保健所と美容業	
9～10	保健	母子保健	
11～12	〃	成人、高齢者保健①～④	
13～14	〃	成人、高齢者保健⑤～⑪	
15～16	〃	成人、高齢者保健⑫	
17～18	〃	精神保健	
19～20	環境衛生の概要	概要	

回	項目	授業内容	備考
21～22	環境衛生の概要	空気と健康	
23～24	〃	温度、湿度、気流と健康	
25～26	〃	衣服の衛生、住居の衛生	
27～28	〃	上水道、下水道	
29～30	〃	衛生害虫とネズミ、水質汚染	

授業計画　【衛生管理（感染症）】２年

回	項目	授業内容	備考
1～2	人と感染症	発見の歴史、法律	
3～4	〃	感染症の分類	
5～6	病原微生物	種類、構造	
7～8	〃	増殖と環境の影響	
9～10	感染症の予防	病原性と感受性、常在細菌叢	
11～12	〃	免疫と予防接種、発症要因	
13～14	〃	感染症予防の三原則	
15～16	感染症各論	結核～インフルエンザ	
17～18	〃	新型インフルエンザ～風疹	
19～20	〃	細菌性赤痢～Ｂ型肝炎	
21～22	〃	Ｃ型肝炎～デング熱	
23～24	具体的な対策の例	各対応と対策	
25～26	一編まとめ	小テスト	
27～28	二編まとめ	小テスト	
29～30	三編まとめ	小テスト	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	保健	必修	単位	３単位	時間数	９０時間
担当者	竹内　志保	実務経験	無	1年次：60回　2年次：30回		

授業の概要	人体の構造と機能 皮膚科学
履修ポイント	健康の増進と疾病の予防
学習の目的	人体構造、機能に関する科学的知識と美容技術との関係を理解する 皮膚・毛髪の構造の基礎知識の習得 国家試験合格
学習の目標	頭部を中心に人間の美に関わる美容師に必要な情報生理解剖学の基本知識の習得 皮膚・毛髪に関する深い知識の習得
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センターテキスト ワークブック・問題と解説
成績評価	期末試験、確認テストの総合 単位認定６０点以上

授業計画　【保健】１年

回	項目	授業内容	備考
1	序論	保健を学ぶにあたって	
2	第1章 頭部・顔部・頸部の体表解剖学	人体各部の名称 頭部・顔部・頸部の体表解剖学	
3	〃	〃	
4	〃	〃	
5	第2章 骨格器系	骨の種類と構造	
6	〃	骨の連結	
7	〃	骨格器系とその働き	
8	総合学習	第1章・第2章	
9	第3章 筋系	筋の種類とその特徴	
10～11	〃	主な骨格筋とその働き	

回	項目	授業内容	備考
12	筋系	表情筋と表情運動/理容・美容の作業と筋疲労	
13～15	第4章 神経系	神経系の成り立ち 中枢神経とその働き 末梢神経とその働き	
16	総合学習	第3章・第4章まとめ	
17～19	第5章 感覚器系	視覚 聴覚・平衡感覚 味覚・臭覚・皮膚感覚	
20～23	第6章 血液・循環器系	血液のあらまし 悦液循環の仕組み 血液の循環経路・心臓と血管の働き リンパ管系の仕組みと働き	
24	総合学習	第5章・第6章のまとめ	
25～27	第7章 呼吸器系	呼吸器系のあらまし 気道 肺の仕組みとガス交換・呼吸運動	
28～30	第8章 消化器系	消化器系 消化管の仕組み 消化管の働き・消化と物質代謝	
31	総合学習	第1章・第2章まとめ	
32～36	第2編　第1章 皮膚の構造	皮膚の表面・皮膚の断面 表皮 表皮・表皮と真皮の境 真皮 皮下組織・皮膚の部位差	
37～39	第2章 皮膚付属器官の構造	毛髪について 脂腺・汗腺 爪について	
40	総合学習	第1章・第2章まとめ	
41	第3章 皮膚の循環器系と神経	皮膚の血管/皮膚のリンパ管/皮膚の神経	
42～47	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	体外保護作用 知覚作用と皮膚反射 分泌・排泄作用 呼吸作用・吸収作用 貯蔵作用・免疫・解毒・排泄作用 再生作用・毛の働き・爪の働き	

回	項目	授業内容	備考
48	総合学習	第3章・第4章　まとめ	
49～57	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身状態・皮膚と精神 皮膚と栄養・皮膚と嗜好品 皮膚と体内病変 皮膚の水分と脂の状態 皮膚・付属器官とホルモン 皮膚の保護と手入れ 爪の保護と手入れ 子供のおしゃれによる皮膚トラブル	
58	総合学習	第5章まとめ	

授業計画　【保健】２年

回	項目	授業内容	備考
1～2	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類	
3	〃	皮膚疾患の原因・皮膚疾患の治療法	
4～7	〃	皮膚炎と湿疹	
8	〃	口唇の疾患	
9～12	〃 〃	温熱・寒冷による皮膚障害 各会場による皮膚疾患 色素異常による皮膚疾患 血管腫・脂腺母斑・下肢静脈瘤	
13～14	〃	分泌異常による皮膚疾患	
15～19	〃	化膿金による皮膚疾患 ウイルスによる皮膚疾患 真菌による皮膚疾患 感染症による皮膚疾患の予防	
20～22	〃	毛と爪の疾患	
23	〃	皮膚の腫瘍	
24	総合学習	第6章まとめ	
25～29	人体の構造及び機能	復習・練習問題・ワーク	
30～32	皮膚科学	復習・練習問題・ワーク	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	香粧品化学	必修	単位	2単位	時間数	60時間
担当者	小川　恭右	実務経験	無	１年次：36回　２年次：24回		

授業の概要	教科書に従い授業を行う。 適宜、ワーク、練習問題により習熟度を把握する。 学期末には、国家試験に対応した試験を実施する。
履修ポイント	香粧品総論（香粧品に係る法規制、香粧品原料等）
学習の目的	香粧品に起因するアレルギー等の健康被害及び被害防止のための法的規制について 香粧品原料となる各種物質の特徴、使用用途及び機能
学習の目標	香粧品による健康被害を防止するための法規制制度を学ぶとともに、香粧品の原料となる物質の特徴、機能についての理解を深め、国家試験に対応できる知識を身につける
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書 ワークブック等
成績評価	期末試験、授業評価、確認テスト

授業計画　【香粧品化学】１年

回	項目	授業内容	備考
1～2	第１編香粧品総論 第１章　香粧品総論	香粧品について 香粧品の造形 香粧品の効果と仕様プロセス	
3～7	第2章　香粧品を使用する際に気を付けるべきこと	香粧品の使用による症状 香粧品の定義と法規制 香粧品の安全性と安定性	
8	〃	ワーク	
9		試験	
10		試験解説	
11～18	香粧品の成り立ち	香粧品の成り立ち 水と親水性溶媒 油性原料 界面活性剤 高分子化合物	
19	〃	ワーク	

回	項目	授業内容	備考
20～24	香粧品の成り立ち	色材 香料 製品を安定させる配合原料	
25		試験	
26		試験解説	
27～29	〃	その他の機能性配合原料 雑貨原料	
30	〃	ワーク	
31～34	香粧品各論 スキンケア製品	香粧品の効果と使用プロセス クレンジング用香粧品 コンディショニング用香粧品	
35		試験	
36		試験解説	

授業計画　【香粧品化学】２年

回	項目	授業内容	備考
37～39	香粧品各論 スキンケア製品	トリートメント用香粧品	
40		ワーク	
41～44	メイクアップ製品	メイクアップ製品の種類と剤形 ベースメイクアップ香粧品 ポイントメイクアップ香粧品 アイメイクアップ製品 まつ毛ケア製品 ネイルメイクアップ製品 ネイルケア製品	
45～47	第3章ヘアケア・ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品	ヘアクレンジング用香粧品 ヘアコンディショニング用香粧品 ヘアスタイリング料	
48	〃	ワーク	
49～50	〃	パーマ剤	
51	〃	試験	
52	〃	試験解説	
53～55	〃	ヘアカラー製品 スキャルプケア製品	
56	〃	ワーク	
57～58	〃	試験対策授業	
59	〃	試験	
60	〃	試験解説	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	文化論	必修	単位	２単位	時間数	６０時間
担当者	竹内　志保	実務経験	無	１年次：30回　　２年次：30回		

授業の概要	理美容業の歴史、日本のファッションの歴史、礼装の種類、西洋のファッションの歴史を教科書をベースに知識を身に着け、歴史上の人物や出来事、現代との比較等を踏まえ、理解を深める。授業の後半でまとめのプリントを実施し、理解度を確認する。
履修ポイント	各時代の代表的なヘアスタイル、メイクファッションを知り時代を把握する
学習の目的	ヘアスタイルを学ぶことで、今までのデザインを理解し今後求められるデザインの発想力を養う。
学習の目標	理美容業の成り立ちや各時代の代表的なヘアスタイル、メイク、ファッションの知識を身に着け、説明できるようになる。 礼装の種類やマナーの知識を身に着けさせる。
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書 ワークブック・問題と解説
成績評価	期末テスト、確認テスト、及び授業態度等踏まえて評価する

授業計画　【文化論】１年

回	項目	授業内容	備考
1～2	総論	理容・美容の語義　　造形要素・仕事について	
3～4	日本の理容業・美容業の歴史 第1節　・第2節	髪結床、女結髪いについて 江戸時代の理美容業について	
5～6	日本の理容業・美容業の歴史 第3節・第4節	明治～現代の理美容業について	
7～8	ファッション文化史　日本編 第1節　縄文・弥生・古墳時代	当時のヘアスタイル、メイク、ファッションについて	
9～10	第2節 古代（飛鳥・奈良・平安時代）	〃	
11～12	第3節　中世 （平安末・鎌倉・室町・戦国時代）	〃	
13～14	第4節　近世I （戦国末・安土桃山時代）	〃	
15～16	第５節　近世Ⅱ（江戸時代）	〃	
17～18	第６節（明治時代）	〃	
19～20	〃　（大正時代）	〃	
21～22	〃　（昭和20年まで）	〃	

回	項目	授業内容	備考
23～24	第７節　現代Ⅰ （１９４５年～１９５０年）	当時のヘアスタイル、メイク、ファッションについて	
25～26	第８節　現代Ⅱ （１９６０年～１９７０年）	〃	
27～28	第９節　現代Ⅲ （１９８０年～１９９０年）	〃	
29～30	第１０節　現代Ⅳ （２０００年以降）	〃	

授業計画　【文化論】２年

回	項目	授業内容	備考
1～2	礼装の種類　　和装の礼装	花嫁の礼装・女性の礼装、準礼装・男性の礼装	
3～4	〃　　洋装	女性・男性の礼装	
4～6	ファッション文化史　西洋編 第１節古代エジプト 第2節古代ローマ・ギリシャ	当時のヘアスタイル、メイク、ファッションについて	
7～8	第3節 古代ゲルマン 第4節　中世ヨーロッパ	〃	
9～10	第5節　近世Ⅰ（１６世紀）	〃	
11～12	第６節　近世Ⅱ（１７世紀） 第７節　近世Ⅲ（18世紀）	〃	
13～14	第８節　近代Ⅰ （18世紀末～19世紀初め）	〃	
15～16	第９節　近代Ⅱ（19世紀） 第１０節　現代Ⅰ （１９１０年代～１９２０年代）	〃	
17～18	第１１節　現代Ⅱ （１９３０年代～１９４０年前半）	〃	
19～20	第１２節　現代Ⅲ （１９４０年後半～１９５０年代）	〃	
21～22	第１３節　現代Ⅳ （１９６０年代）	〃	
23～24	第１４節　現代Ⅴ （１９７０年代）	〃	
25～26	第１５節　現代Ⅵ （１９８０年代）	〃	
27～28	第１６節　現代Ⅶ （１９９０年～２０１０年）	〃	
29～30	学期末テスト 確認テスト	〃	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	美容技術理論	必修	単位	3単位	時間数	105時間
担当者	竹内　志保	実務経験	有	1年次：105回		

授業の概要	技術には、裏付けとなる理論が必ずあること、その理論を理解し、技術について整然と筋道を立てて、説明できるよう、また技術を行えるよう指導する 美容師になる心構えなども同時に理解を深めていく 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	国家試験課題のポイントを学習し、修得する
学習の目的	系統だった理論と根拠を理解することにより、より良い技術と心をお客様に提供できる美容師を目指す
学習の目標	美容技術の理論を理解し、しっかりと基礎を身に着け、将来役立つ技術として修得させる
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書　技術理論1　美容実習1・2　プリント ワークブック・問題と解説
成績評価	期末試験、授業評価、確認テスト　提出物 単位修得状況

授業計画　【美容技術理論】１年

回	項目	授業内容	備考
1～2	第1章 美容技術概論・基本的な姿勢	理論の必要性 美容とは・美容技術を行うにあたって大切なこと	
3～4	美容用具について	美容用具の特徴と名称の理解	
5～6	〃	美容用具を実際に使ってみて、美容用具の必要性を理解	
7～9	〃	美容用具機械において、その取扱い方とどのような効果があるかを説明説明	
10	〃	第1章　確認テスト	
11～13	第2章　シャンプー	シャンプー理論 シャンプー剤の種類	
14～16	〃	毛髪タイプ別シャンプー剤の種類 毛髪の汚れ、傷みの原因	
17～18	〃	シャンプー剤、リンス、コンディショナー、 トリートメントの成分と違い	
19～21	〃	スキャルプトリートメントの種類と効果について 頭皮タイプ別トリートメントの種類と違い	

回	項目	授業内容	備考
22～23	第2章　シャンプー	相モデルでスキャルプマッサージを行う 手技と効果について　　第2章　確認テスト	
24		学期末テスト	
25		学期末テストの解答と解説	
26～29	第3章　ヘアデザイン	錯視図や動画を見て楽しさを与える ヘアスタイルのバランスについて	
30～31	〃	実際に色々なパターンのヘアスタイルを作って 学生たちからのコメント、アドバイスを出し合う	
32～34	〃	ヘアデザイン画の作成	
35～36	第4章　ヘアカッティング	美容刃物の材料、美容刃物に適した条件	
37～41	〃	カッティングの定義、目的、カッティングに関する 道具類の説明と正しい姿勢について カッティングの際のブロッキングとスライスの種類 ラインの選定方法・顔面ポイントとの関係 ベーシックなカット技法の種類と解説 シザーズによるカット技法と特徴の説明	
42～44	〃	シザーズによるカットをデモンストレーションを交えながら体験	ウィッグで実際にカットをする
45～47	〃	レザーによるカット技法の種類と特徴の説明 デモンストレーションを交えながら体験	ウィッグで実際にレザーカットをする
48	〃	第4章全体の復習 第4章　確認テスト	
49～52	第5章 パーマネントウェーブ	パーマネントウェーブの歴史と形成の仕組み パーマ剤の種類と成分、その特徴について	
53～55	〃	パーマネントウェーブ技術の手順と同時に注意事項の 説明とロッドの選定とプレ処理について	
56～57	〃	縮毛矯正剤について 第5章　確認テスト	
58～60	第6章 ヘアセッティング	ヘアセッティングとは～ヘアウェービング ヘアウェーブの各部の名称　ウェーブとピンカールの関係	
61～64	〃	カールの各部の名称　カールの分類を実技と比較しながら 説明　　カールスペースの名称と特徴	
65～67	〃	カールピニングと各種カールの説明 ヘアセッティング　確認テスト	
68～71	〃	ローラーカーリングの特徴 ローラーカーリングとホットカーラーの違いについて	実際にローラーカールとホットカーラーを巻いてみる
72～73	〃	ヘアアイロンについて 第6章　確認テスト	

回	項目	授業内容	備考
74～83	第7章 ヘアカラー	ヘアカラー剤の種類と特徴を染毛のメカニズムを参照しながら進める	
84～89	〃	パッチテストの必要性 カラー剤の成分	
90～94	〃	染毛剤使用時の注意事項について カラーサークル作成	
95～99	〃	アンダートーンについて　　相モデルで毛髪診断 毛髪チェックシートを使用して希望色の選定	
100～103	〃	ヘアブリーチについて 第7章確認テスト	
104		確認テスト解説	
105	学年末試験		

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	美容技術理論	必修	単位	2単位	時間数	45時間
担当者	熊野　正人	実務経験	有	2年次　45回		

授業の概要	技術には裏付けとなる理論がある。「なぜそうなるのか」を解明し、技術について整然と筋道を立てて説明できるよう、また、技術を行えるよう指導する 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	基礎技術をしっかり身に着けさせるとともに知識を深める
学習の目的	系統だった理論と根拠を理解することにより、より良い技術と心をお客様に提供できる美容師を目指す
学習の目標	美容技術の理論を理解し、しっかりと基礎を身に着け、将来役立つ技術として修得させる
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書　技術理論1　美容実習1・2　プリント ワークブック・問題と解説
成績評価	期末試験、授業評価、確認テスト　提出物 単位修得状況

授業計画　【美容技術理論】２年

回	項目	授業内容	備考
1	第8章 エステティック	エステティックとは カウンセリングの必要性	
2		確認テスト	
3	〃	マッサージ理論 基本手技の種類と特徴	
4	〃	確認テスト	
5	〃	フェイシャルケアの手順と方法 フェイシャルパックの種類と特徴	
6	〃	確認テスト	
7	第9章 ネイル技術	ネイル技術の種類 爪の構造と働きについて	
8		確認テスト	
9	〃	爪のカット形状と特徴 消毒の定義　爪の病気について	
10	〃	確認テスト	
11	〃	ネイル道具の説明と使用方法の確認 ネイルケアの手順と確認	
12	〃	確認テスト	
13	〃	手と足のマッサージ手順と注意点 ハンドマッサージを相モデルで行う	

回	項目	授業内容	備考
14	第10章 メイクアップ	顔のプロポーション 立体感を出すファンデーションの塗布	
15	〃	メイクアップ道具の取扱い方と特徴	
16	〃	期末テスト	
17	〃	期末テストの解答と解説	
18	〃	スキンケアの手順	
19	〃	メイクアップベース ファンデーションの種類と特徴	
20	〃	ハイライト・ローライトについて ポイントメイクアップ	
21	〃	確認テスト	
22	〃	確認テストの解答と解説	
23	〃	まつ毛エクステンション まつ毛エクステンションの注意点	
24	第11章 日本髪	日本髪の種類と特徴 日本髪の各部の名称	
25	〃	日本髪の結髪道具 結髪技術の手順	
26	〃	確認テスト	
27	〃	確認テストの解答と解説	
28	第12章 着付けの理論と技術	礼装について 既婚女性・未婚女性・男性の礼装	
29	〃	着物の生地について	着物の生地を実際に見る
30	〃	着物の種類と季節	様々な着物を準備
31	〃	確認テスト	
32	〃	期末テスト	
33	〃	期末テストの解答と解説	

回	項目	授業内容	備考
34	着付けの理論と技術	帯の種類と特徴 着付けに関わる小物類	帯の種類を実際に見てもらう 全て実際の物を見てもらう
35	〃	着物の各部の名称 着物のたたみ方と種類	
36	〃	着付けの際の注意点 補整について	
37	〃	確認テスト確認テストの解答と解説 婚礼衣装と着付けについて	
38	〃	確認テスト	
39	〃	確認テストの解答と解説	
40～45	国家試験対策	国家試験対策過去問 国家試験プリント	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	運営管理	必修	単位	１単位	時間数	30時間
担当者	原　泉里	実務経験	無	１年次：30回		

授業の概要	経営について学ぶ
履修ポイント	経営を通じて、経営者の考えや従業員の立場を理解する
学習の目的	経営者の考え、人を雇う、顧客満足のために学ぶ
学習の目標	経営を通して、働く意義を考える
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書
成績評価	各学期末テスト 小テスト

授業計画　【運営管理】

回	項目	授業内容	備考
1～6	経営者の視点	経営が必要とされる理由 経営とは 経営戦略 美容業の経営 資金の管理 コストを管理、税金について	
7～13	人という資源	人の能力を高める 給与、待遇、福利厚生 健康管理 健康課題 従業員の視点から 社会保険 社会保険とキャリアプラン	
14	顧客のために	サービス・デザイン	
15	期末テスト		

回	項目	授業内容	備考
16～17	顧客のために	顧客満足のためのシステム 顧客が求めるもの	
18～21	〃	マーケティング マーケティング・ミックスの要因	
22～23	〃	サービスにおける役割 実践１～３	
24	〃	実践４～５	
25～27	〃	接客におけるトラブル対応テクニック クレーム 問題の対策・対処	
28	一編まとめ	プリント	
29	二編まとめ	プリント	
30	三編まとめ	プリント	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回3時間

教科名	美容実習	必修	単位	14単位	時間数	420時間
担当者	熊野　正人	実務経験	有	140回		

授業の概要	ワインディング オールウェーブセッティング 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	学生大会などの目標を設定して基礎を重点的に指導する
学習の目的	構成の理解と正確な技術の習得
学習の目標	ワインディング・スライス、巻き方つながりの理解と正確な技術の習得 オールウェーブ・ウェーブ技術の習得、ピンカールの種類とつながりを理解させる
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書
成績評価	単位修得状況 実技試験　６０点以上

授業計画　【美容実習】１年

回	項目	授業内容	備考
1～3	器具・用具について	器具・用具の名称・準備方法・コーミング	
4～5	ワインディング ブロッキング（オールパーパス）	ブロッキングの取り方（１0ブロック）	
6～7	上巻き	ブロッキング（15分） 上巻き技術	
8～9	下巻き	ブロッキング（15分） 下巻き技術	
10～12		ブロッキング（１０分） センターを巻く	
13～14	バックサイド	スライスの取り方 角度の説明	
15～16	サイド	サイドの巻き方・スライスの取り方・角度	
17～18	全頭を巻く	全体を通しで巻いてみる	
19～22	〃	全頭を決められた時間内に巻く　全頭60分 （タイムアタック） 技術確認	

回	項目	授業内容	備考
23～26	全頭を巻く	全頭　40分 技術確認	
27～29	〃	全頭　30分 技術確認	
30	確認テスト		
31～36		競技会に向けて練習	
37	競技会		
38	ワインディング （デザイン巻き）	デザイン巻き　ブロッキング（12ブロック） 国家試験課題のワインディングについて説明	
39	センター	センターを巻く	
40	センター～フロント	フロントスライスの取り方・角度の説明	
41～42	センター～フロント～ バックサイド	バックサイドの巻き方・スライスの取り方	
43～44	センター～サイド	サイドの巻き方	
45～47	デザイン巻き　全頭	ブロッキングから全頭を巻く	
48	確認テスト		
49～52	デザイン巻き　全頭	全頭　40分	
53～59	〃	全頭30分	
60	期末試験		
61	オールウェーブ 器具・用具について	器具・用具の名称、準備方法～ローション塗布	
62～63	ウェーブ、リッジ作成	ウィッグのシェーピング（半円を作る） フィンガーウェーブ技術	
64～66	〃	リッジ技術	
67～68	〃	フロント（馬蹄形の作成）	
69～85	〃	７段構成の1段目～2段目・フィンガーウェーブ リッジ 1段目～3段目 1段目～4段目 1弾目～5段目 1段目～6段目 1段目～7段目（クロッキノールカール）	

回	項目	授業内容	備考
86	確認テスト		
87～88		1段目スカルプチュアカール	
89～93		1段目～3段目	
94～96	ピンカール 理論と基礎技術	1段目～4段目リフトカール右巻き	ピンカールとウェーブの構成、ピニング等細かな部分を徹底指導
97～100	〃	1段目～5段目リフトカール左巻き	
100～104	〃	1段目～6段目メイポールカール	
105～109	〃	1段目～7段目	
110～120	オールウェーブセッティング 全頭	全頭を仕上げる 全体のバランス・ピンカールの確認	
121	確認テスト		
122～124	オールウェーブセッティング	全頭タイム60分	
125～128	〃	全頭タイム50分	
129～131	〃	全頭タイム40分	
132～133	〃	全頭タイム30分	
134	確認テスト		
135	期末テスト	ワインディング オールウェーブセッティング	
136～139		学年末に向けてワインディングと オールウェーブ セッティングの最終確認授業	
140	学年末テスト	ワインディング・カッティング オールウェーブセッティング	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回3時間

教科名	美容実習	必修	単位	16単位	時間数	480時間
担当者	松家　依里	実務経験	有	150回		

授業の概要	ワインディング オールウェーブセッティング カッティング 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	県競技会、学生大会を意識して指導する 国家試験対策指導を行う
学習の目的	国家試験の合格
学習の目標	国家試験に必要な基礎を徹底して学ぶ 衛生面に関しての技術、知識を身につける
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書
成績評価	衛生と技術の解説 実技試験６０点以上

授業計画　【美容実習】２年

回	項目	授業内容	備考
1	衛生の準備について	衛生的に準備	
2	ワインディング デザイン巻き	ブロッキング	
3～10	ワインディング デザイン巻き	衛生的に準備 全頭タイム ブロッキング 衛生、器具の取り扱いの注意 衛生（使用中）に気を付ける	オンベース・1/2 オフベースの確認
11	確認テスト	チェックテスト全頭（30分）	
12～20	全頭の完成 正確さ、綺麗さ、速さ	衛生的に準備 全頭タイム（25分） ブロッキング 1回の動作の短縮 センターを特に注意 ペーパーの取り方	

回	項目	授業内容	備考
21	確認テスト	チェックテスト（25分）	
22～31	ワインディング デザイン巻き	衛生的に準備 ブロッキング 全頭タイム（20分） 全体のバランスと時間配分を考える 構成に注意して巻く	
32	確認テスト	確認テスト（20分） 国家試験合格レベルに仕上げる	
33～43	オールウェーブセッティング	理論と基礎技術 道具の準備・説明・取り扱い シェーピング（半円周） リッジを作る ピンカール	
44	確認テスト	チェックテスト（40分）	
45～50	オールウェーブセッティング	全頭30分 全体のバランス フィンガーウェーブ構成 ピンカール構成 ピニング	
51	確認テスト	チェックテスト（30分）	
52～58	オールウェーブセッティング	理論と基礎技術 フィンガーウェーブ（全頭25分） シェーピング（半円周） リッジを作る ピンカール	
59	確認テスト	チェックテスト（25分）	
60～75	カッティング	道具の準備・説明・取り扱い シザーズの開閉 シザーズの取り扱い方 シザーズの手入れ方法 理論と基礎技術・ブロッキング 全体のつながり・ヘムライン 長さの確認	
76	確認テスト	チェックテスト（20分）	

回	項目	授業内容	備考
77～79	カッティング	仕上がり状態 毛髪の長さ ヘムライン 左右シンメトリー	
80	確認テスト	チェックテスト（20分）	
81～ 150	国家試験対策授業	国家試験に向けて課題練習 リハーサル	

２０２６年

区分：美容専門課程

教科名	総合美容実習 (接遇・マナー)	必修	単位	1単位	時間数	12時間
担当者	美馬マサコ	実務経験	有	6時間×2日間		

授業の概要	サービス業に必要な接遇・マナー 接遇・マナーとは 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	ロールプレイングを重点的に接客マナーを実践する
学習の目的	接遇・マナーの大切さや美容師としてどのような接遇・マナーが必要なのか そして人を思いやる心の大切さや笑顔の大切さ、人の大切さを理解してもらう
学習の目標	人前に出た時、とっさの時にも笑顔で対応できるように、そして即戦力となれるよう 技術を身につけさせる
教科書及びその他の教材	SBSテキスト
成績評価	接遇・マナー試験

授業計画　【接遇・マナー】１年度

回	項目	授業内容	備考
1	第1章	学校内でのマナーを考えよう 周りの人への心がけ	
2		学校のルール	
3	第2章	身だしなみ・表情・立ち方歩き方・お辞儀の重要性	
4		言葉づかい 尊敬語・謙譲語・丁寧語	
5		クッション言葉 挨拶	
6		自分を表現する	
7		ロールプレイング グループに分かれてサロンスタイルの実演	
8		〃	
9		〃	
10	接遇・マナー試験	接遇・マナー筆記試験	
11		接遇・マナー実技試験	
12		〃	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	総合美容実習 （エステティック）	必修	単位	１単位	時間数	３０時間
担当者	芝野　舞	実務経験	無	1年次：30回		

授業の概要	エステティック 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	相モデルによる肌質判断とマッサージ技術の習得
学習の目的	エステティック技術の習得 （フェイシャルケア）
学習の目標	マッサージの基本手技の種類と技術の習得 肌質にあったマスクの選択と塗布
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センターテキスト
成績評価	確認試験 授業評価

授業計画　【エステティック】１年度

回	項目	授業内容	備考
1～3	理論	エステティック概論 健康な皮膚の条件	
4～6	実技　クレンジング	ポイントメイク落とし、ハンドクレンジング、スポンジふき取り	
7～9	マッサージ	クレンジング～フェイシャルマッサージ　1	
10～12	〃	クレンジング～フェイシャルマッサージ　2	
13～15	〃	クレンジング～フェイシャルマッサージ　3	
16～18	スチーマー	クレンジング～ スチーマーの目的、使用方法	
19～21	スキンチェック スキンタイプ	クレンジング～ スキンチェック項目、肌質の判断	
22～24	マスク	クレンジング～ マスクの種類、使用方法	
25～27	フェイシャルトリートメント	クレンジング～マスクのふき取り	
28～30	〃	〃　総仕上げ	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	美容総合実習 （メイクアップ）	必修	単位	１単位	時間数	３０時間
担当者	谷口　ゆかり	実務経験	有	1年次：30回		

授業の概要 履修ポイント	メイクアップ 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験 相モデルによるイメージアップメイク
学習の目的	メイクの効果と目的を理解した上での基礎技術の習得
学習の目標	メイクに関する知識と基礎技術の習得
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センターテキスト
成績評価	確認試験 授業評価

授業計画　【メイク】１年度

回	項目	授業内容	備考
1～3	メイク理論	小道具・顔の名称・スキンケア・ベースメイクアップ ファンデーションの種類、スキントラブルテクニック	
4～6	化粧水～ファンデーション～パウダー	ファンデーションの色の選び方・テクニック	
7～9	眉	効果と目的・アイブローテクニック	
10～12	アイシャドー	〃　アイシャドーテクニック	
13～15	アイシャドー・アイライン	〃　アイラインテクニック	
16～18	アイライン・アイラッシュカーラー マスカラ	〃　アイラッシュカーラー＆マスカラテクニック	
19～21	口紅	〃　リップブラシによるテクニック	
22～24	チーク・ハイライト・シャドー	〃　チーク・ハイライト・シャドーテクニック	
25～27	全体のバランス	左右対称に仕上げる	
28～30	メイクアップ	タイム（40分） メイク　総仕上げ	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	美容総合実習 （ネイル）	必修	単位	１単位	時間数	３０時間
担当者	伊澤　裕美	実務経験	無	1年次：30回		
授業の概要	ネイルケア基礎技術 カラーリング技術					
履修ポイント	マニキュアを知る					
学習の目的	爪の知識の習得 ネイルケア基礎技術、カラーリング技術の習得					
学習の目標	美容という幅広い分野の一つであるネイル技術について深く理解し、知識を習得させる					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センターテキスト					
成績評価	確認試験 授業評価					

授業計画

回	項目	授業内容	備考
1～3	ネイルケア	テーブルセッティング 道具の名称、確認	
4～12	〃	テーブルセッティング、種子消毒、爪のカット形状 ファイリングの実技	
13～15	〃	爪のファイリングを相モデルで実技練習 実習後学科	
16～18	〃	主旨消毒～ファイリング・カラーリング 実習後学科	
19～21	〃	ハンドマッサージ　理論と技術	
22~27	〃	相モデルでのケア～マッサージ～カラーリングのトータル練習 その後学科	
28～30	〃	ネイル技術の総仕上げ 技術確認	

２０２６年

区分：美容専門課程

※必修単位に接遇・マナー12H含む。エステ、ネイル、メイク、着付は別途記載

教科名	美容総合実習	必修/選択必修	単位	必修12単位 選択必修4単位	時間数	必修：360時間 選択必修：120時
担当者	松家依里・熊野正人 伊澤裕美	実務経験	有	必修156回　選択必修40回		

授業の概要	美容技術の理論を踏まえ、美容の知識、技術を習得する 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	実際に様々な技術を行うことによって、技術の奥深さや社会人となった時の心構えなど、シミュレーションを踏まえて美容師を体感する
学習の目的	就職後、即戦力となれるよう美容技術と知識を修得する 美容技術に対して、より一層興味を持ち向上心を養う
学習の目標	即戦力となれるような技術の修得度を確認する 社会人としての心構えを身につける
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書 カラー剤・パーマ剤・シャンプー剤等、美容技術に関わる薬剤、美容機器
成績評価	技術の項目ごとに技術の習得度を確認する

授業計画【美容総合実習】

回	項目	授業内容	備考
1～10	パーマネントウェーブ	パーマネントウェーブ薬剤の種類、使用方法 注意点等の説明 ウィッグを使用して様々なワインディング 実際にパーマネントウェーブ薬剤を用いてパーマをかける パーマ剤の放置タイムの確認 カールチェックの方法	
11～30	カラー・ブリーチ	カラー剤の種類、使用方法、注意点等の説明 ブリーチ剤の使用方法、注意点等の説明 ウィッグを使用してブロッキングの取り方、刷毛の使用方法、塗布の仕方等を行う ホイルワーク、グラデーション	
31～60	アップスタイル	アップスタイルの基礎技術（ロングヘアの梳かし方、まとめ方、ピニング） アップヘアスタイルを仕上げる 三つ編み、編み込み技術 スキ毛を使ってアップスタイル スキ毛の作り方、留め方	

回	項目	授業内容	備考
61～95	カット・ブロー	ベーシックカット ワンレングス グラデーション レイヤー カット終了後ブローレッスン	
96～156	シャンプー トリートメント技術 ブロー	シャンプー理論 シャンプー技術の実際 シャンプー手技の手順確認 相モデルでシャンプー実習 （お互いに技術の確認とチェック） トリートメント技術の指導 トリートメント剤の塗布の仕方 加熱の仕方 ブローレッスン 人頭に対するドライヤーの使用方法、注意点等 アイロン技術指導	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	美容総合実習 （エステティック）	選択必修	単位	１単位	時間数	３０時間
担当者	芝野　舞	実務経験	無	2年次：30回		

授業の概要	フェイシャルエステティック 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	相モデルによる肌質判断とマッサージ技術の習得
学習の目的	サロンエステの一般知識の習得 フェイシャルエステティックの基本的なハンドテクニックの習得
学習の目標	クレンジング～マスク仕上げが正確に行えること 消毒、衛生管理等の知識の習得 ＳＢＳ試験に合格
教科書及びその他の教材	ＳＢＳエステティックテキスト
成績評価	最終確認時の技術習得度 SBS試験

授業計画【エスエティック】２年度

回	項目	授業内容	備考
1～3	消毒 マッサージ	消毒の種類と使用方法 マッサージの基本手技の確認	
4～6	〃	〃	
7～9	スチーマー	スチーマーの目的と使用方法の確認	
10～12	スキンチェック・マスク	スキンチェックによるマスクの選択と塗布	
13～15	〃	〃	
16～18	フェイシャルトリートメント	準備　クレンジング～仕上げ　プロセス	
19～21	フェイシャルトリートメント タイムアタック	クレンジング～仕上げ　（60分）	
22～24	〃	〃	
25～27	〃	〃	
28～30	〃	〃	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	美容総合実習 （メイクアップ）	選択必修	単位	１単位	時間数	３０時間
担当者	谷口　ゆかり	実務経験	有	2年次：30回		

授業の概要	メイクアップ 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	相モデルによるイメージアップメイク
学習の目的	サロンメイクの一般知識の習得 日常生活に相応しいメイク技術の習得
学習の目標	ベーシックなメイクアップ料の使い方の習得 日常生活に相応しいメイク技術の習得 ＳＢＳ試験に合格
教科書及びその他の教材	ＳＢＳメイクアップテキスト
成績評価	最終確認時の技術習得度 SBS試験

授業計画　【メイク】２年度

回	項目	授業内容	備考
1～3	ベースメイクアップ	化粧水～ファンデーション～パウダーまでの復習／技術確認	
4～6	目元	アイシャドー・アイライン・マスカラ・眉までの復習／技術確認	
7～9	リップ・仕上げ	リップ・チーク・ハイライトまでの復習／技術確認	
10～12	メイク仕上げ	全体のバランス 左右対称　などのチェック	
13～15	〃	〃	
16～18	〃	〃	
19～21	タイムアタック	ＳＢＳ試験プロセス（40分）	
22～24	〃	〃	
25～27	〃	〃	
28～30	〃	〃	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	美容総合実習（ネイル）	選択必修	単位	１単位	時間数	３０時間
担当者	伊澤　裕美	実務経験	無	2年次：30回		

授業の概要	ネイルケア技術 カラーリング技術
履修ポイント	試験を意識して技術と知識の習得
学習の目的	爪についてさらに知識を広げる 即戦力となれるよう、知識、技術共に向上
学習の目標	ＳＢＳ試検に合格
教科書及びその他の教材	ＳＢＳネイルテキスト
成績評価	最終確認時の技術習得度 SBS試験

授業計画【ネイル】２年度

回	項目	授業内容	備考
1～3	ネイルケア受験の心得	ネイル道具確認 ネイル道具確認ケア・カラーリングの手順確認	
4～6	実技確認	相モデルでケア・カラーリングの実技練習	
7～9	〃	相モデルでケア・カラーリングの実技練習 学科　ネイル学	
10～12	〃	相モデルでケア・カラーリングの実技練習 練習後学科	
13～15	〃	相モデルでケア・カラーリングの実技練習 実習後学科	
16～18	〃	実習後学科プリント	
19～21	〃	実習後学科プリント	
22～24	〃	モデルを使って通し練習 仕上がり確認	
25～27	〃	モデルを使って通し練習 仕上がり確認	
28～30	〃	モデルを使ってリハーサル 最終確認と試験準備	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	美容総合実習 （着付け）	選択必修	単位	１単位	時間数	３０時間
担当者	芝野　舞	実務経験	有	1年次：30回		

授業の概要	留袖着付け 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	相モデルによる体型補正
学習の目的	和装のマナー 着付け技術の習得（留袖）
学習の目標	和装に関する知識と基礎技術の習得
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センターテキスト
成績評価	確認試験 授業評価

授業計画【着付け】１年度

回	項目	授業内容	備考
1～3	着付け理論 実技	着物の各部の名称、小物の種類と名称 着物、長襦袢のたたみかた、襟綴じ	
4～6	長襦袢	準備の仕方、補正の仕方、長襦袢の着付け	
7～9	〃	〃	
10～12	留袖	着物の着付け	
13～15	〃	〃	
16～18	袋帯	帯の結び方（袋帯）	
19～21	〃	〃	
22～24	留袖着付け	留袖着付け　二重太鼓	
25～27	〃	〃	
28～30	〃	〃	

２０２６年

区分：美容専門課程

※1回1時間

教科名	美容総合実習 （着付け）	選択必修	単位	１単位	時間数	３０時間
担当者	芝野　舞	実務経験	有	2年次：30回		

授業の概要	留袖着付け 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	仕上がりの全体のバランスを見極める
学習の目的	和装のマナー、礼装着付け技術の習得
学習の目標	和装の知識の習得 留袖着付け技術の習得 ＳＢＳ試験に合格
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センターテキスト
成績評価	最終確認時の技術習得度 SBS試験

授業計画【着付け】２年度

回	項目	授業内容	備考
1～3	学科	着付けの目的、礼装、着物と季節、着物の種類、帯・小物の種類、着物の各部の名称、たたみ方	
4～6	留袖着付け	相モデルで補正、長襦袢、留袖	
7～9	〃	〃	
10～12	〃	〃　帯結び（二重太鼓）	
13～15	〃	〃	
16～18	〃	〃　タイムアタック 〃　長襦袢まで15分	
19～21	〃	〃　留袖、帯まで30分	
22～24	〃	〃	
25～27	〃	〃	
28～30	〃	〃	

２０２６年

区分：美容専門課程　【美容Wライセンス科】　※1回3時間

教科名	美容技術理論	必修	単位	４単位	時間数	120時間
担当者	熊野正人	実務経験	有	40回		

授業の概要	美容の様々な技術の理論を認識する 理論の重要性の確認 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	美容の様々な技術を理論に基づいて体験させる
学習の目的	技術には全て理論上に成り立っていることを認識させる 理論を知ることで、技術の上達につながってくることを認識させる
学習の目標	理論を知ることで、技術がスムーズに行えているか より美容技術に向上心を持ち、追究する
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書 カラー剤・パーマ剤・シャンプー剤等、美容技術に関わる薬剤、美容機器
成績評価	期末試験・確認テスト・授業評価

授業計画　【美容技術理論】美容Wライセンス科

回	項目	授業内容	備考
1	第1章 美容技術概論・基本的な姿勢	理論の必要性 美容とは・美容技術を行うにあたって大切なこと	
2~5	美容用具について	美容用具の特徴と名称の理解 美容用具を実際に使ってみて、美容用具の必要性を理解 美容用具機械において、その取扱い方とどのような効果があるかを説明説明 第1章　確認テスト	
6~10	第2章　シャンプー	シャンプー理論 シャンプー剤の種類 毛髪タイプ別シャンプー剤の種類 毛髪の汚れ、傷みの原因 シャンプー剤、リンス、コンディショナー、トリートメントの成分と違い スキャルプトリートメントの種類と効果について 頭皮タイプ別トリートメントの種類と違い 相モデルでスキャルプマッサージを行う 手技と効果について　　第2章　確認テスト	
11	〃	学期末テスト	
12	〃	学期末テストの解答と解説	

回	項目	授業内容	備考
13	第3章　ヘアデザイン	錯視図や動画を見て楽しさを与える ヘアスタイルのバランスについて	
14	〃	ヘアデザイン画の作成	
15~19	第4章　ヘアカッティング	美容刃物の材料、美容刃物に適した条件 カッティングの定義、目的、カッティングに関する道具類の説明と正しい姿勢について カッティングの際のブロッキングとスライスの種類 ラインの選定方法・顔面ポイントとの関係 ベーシックなカット技法の種類と解説 シザーズによるカット技法と特徴の説明 レザーによるカット技法の種類と特徴の説明 第4章全体の復習	
20	〃	第4章　確認テスト	
21~23	第5章 パーマネントウェーブ	パーマネントウェーブの歴史と形成の仕組み パーマ剤の種類と成分、その特徴について パーマネントウェーブ技術の手順と同時に注意事項の説明とロッドの選定とプレ処理について 縮毛矯正剤について 第5章　確認テスト	
24~26	第6章 ヘアセッティング	ヘアセッティングとは~ヘアウェービング ヘアウェーブの各部の名称　ウェーブとピンカールの関係 カールの各部の名称　カールの分類を実技と比較しながら説明　　カールスペースの名称と特徴 カールピニングと各種カールの説明 ヘアセッティング　確認テスト	
27	〃	ローラーカーリングの特徴 ローラーカーリングとホットカーラーの違いについて ヘアアイロンについて 第6章　確認テスト	実際にローラーカールとホットカーラーを巻いて
28~31	第7章 ヘアカラー	ヘアカラー剤の種類と特徴を染毛のメカニズムを参照しながら進める パッチテストの必要性 カラー剤の成分 染毛剤使用時の注意事項について カラーサークル作成 アンダートーンについて　　相モデルで毛髪診断 毛髪チェックシートを使用して希望職の選定 ヘアブリーチについて 第7章確認テスト	

回	項目	授業内容	備考
32	第11章 日本髪	日本髪の種類と特徴、日本髪の各部の名称 日本髪の結髪道具、結髪技術の手順	
33~38	第12章 着付けの理論と技術	礼装について 既婚女性、未婚女性、男性の礼装 着物の種類と季節 着物の各部の名称 帯の種類と特徴 着付けに関わる小物類 補正について 婚礼衣装と着付けについて まつ毛エクステンション まつ毛エクステンションと注意点 第11章、12章確認テスト	
39	国家試験対策	過去問・プリント	
40	国家試験対策	過去問・プリント	

２０２６年

区分：美容専門課程　【美容Wライセンス科】　※1回3時間

教科名	美容実習	必修	単位	23単位	時間数	690時間
担当者	松家依里・熊野正人 伊澤裕美	実務経験	有	230回		

授業の概要	美容の様々な技術を理論に基づいて実習を行う 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	反復練習を行うことによって、技術の習得を早める
学習の目的	国家試験課題である事を十分理解し、且つ理論に基づいて実習するにあたり、人頭の骨格等、将来的に役立てられるようにする
学習の目標	国家試験課題を理解し、合格を意識できるようにする
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書
成績評価	技術の項目ごとに技術の習得度を確認する

授業計画【美容実習】美容Wライセンス科

回	項目	授業内容	備考
1～2	ワインディング ブロッキングの取り方	 ウィッグの取り扱い方～ １２ブロッキングの取り方	
3～8	上巻き 下巻き	ブロッキングタイム　　5分 上巻き　　シェーピング、スライス、巻き方、 ラバーの掛け方 下巻き　シェーピング、スライス、巻き方、 ラバーの掛け方	
9～10	センター	センターをバランスよく巻く	
11～16	フロント～右側・サイド	角度、バランスに注意しながらフロントを仕上げる ラウンド部分のスライスラインの確認 ラウンド部分のステムの角度、バランスを見ながら巻く バックサイド部分のスライスの角度、ステムの角度、バランスを見ながら巻く サイド部分のスライスの角度、ステムの角度、バランスを見ながら巻く	

回	項目	授業内容	備考
17～23	左側	ラウンド部分のスライスの角度、ステムの角度、バランスを見ながら巻く バックサイド部分のスライスの角度、ステムの角度、バランスを見ながら巻く 全頭を仕上げる	
24～50	全頭	ブロッキングタイム5分 ブロッキング確認 全頭を仕上げる	
51～68	全頭	ブロッキング3分 ブロッキング確認 ワインディング確認	
69	確認テスト		
70～77	ワインディング	正しいスライス、角度で時間内に全頭を巻く ブロッキング1分	
78～79	確認テスト	全体のバランス、構成の確認	
80～90		ワインディング全頭タイム 徐々に国家試験タイムにする	
91～92	オールウェーブ	器具・用具について 器具・用具の名称、準備方法、ローション塗布	
93～	ウェーブ・リッジ作成	ウィッグのシェーピング（半円を作る） フィンガーウェーブ技術 リッジ作成技術	
101～120		フィンガーウェーブ作成（オールウェーブ） 1段目～4段目 1段目～5段目 1段目～6段目	全体のバランスや細かなところの確認をする 全体のバランスや細かなところの確認をする
121	確認テスト	ウェーブ構成・バランス・シェーピング・リッジ	
122～127	基礎技術構成 クロッキノールカール	1段目～6段目フィンガーウェーブ 7段目クロッキノールカールの作成 全頭タイム40分	
128	確認テスト	ウェーブ構成・バランス・シェーピング・リッジ ピンカールの確認	

回	項目	授業内容	備考
129～ 153	スカルプチュアカール リフトカール（右） リフトカール（左） メイポールカール	理論と基礎技術 オールウェーブ1段目のスカルプチュアカール作成 1段目～2段目 ピンカールとウェーブの構成について 1段目～3段目 ピンカールとウェーブの構成について 1段目～4段目 リフトカールの作成 1段目～5段目 リフトカールの作成 1段目～6段目 メイポールカールの作成 全頭仕上げ 全体のバランスや構成、ピンカールとウェーブの接続等、確認	
154	確認テスト	タイム40分 全体のバランスや構成、ピンカールとウェーブの接続と構成の確認	
155～ 178		タイムの短縮40分から25分 全頭仕上げ 全体のバランスや構成、ピンカールとウェーブの接続、リッジ、シェーピングの確認	
179	確認テスト	タイム25分	
180	カット	理論と基礎技術 ブロッキングの取り方	
181～ 200		ブロッキング1分 ガイドのカッティング 全体のつながり、ヘムライン、長さの確認 ブロッキング1分ガイドから1セクションめの接続、リッジ、シェーピングの確認 全頭のカッティング 長さの確認、展開図を見ながら全体の確認	
201	確認テスト	タイム30分 全体のつながり、全体のバランス、ヘムライン	
201～ 229		タイムの短縮 全体のチェック	
230	確認テスト	タイム20分 全体のチェック	

２０２６年

区分：美容専門課程　【美容Wライセンス科】　※1回3時間

教科名	美容総合実習	必修	単位	7単位	時間数	210時間
担当者	松家依里・熊野正人 伊澤裕美	実務経験	有			

授業の概要	美容の様々な技術を理論に基づいて実習を行う 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験
履修ポイント	美容の様々な技術を体験することによって技術の奥深さを知る
学習の目的	就職後、即戦力となれるよう美容技術と知識を修得する 美容技術に対して、より一層興味を持ち向上心を養う
学習の目標	即戦力となれるような技術の修得度を確認する
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書 カラー剤・パーマ剤・シャンプー剤等、美容技術に関わる薬剤、美容機器
成績評価	技術の項目ごとに技術の習得度を確認する

授業計画【美容総合実習】Wライセンスコース　※1回3時間

回	項目	授業内容	備考
1～3	接遇マナー	接遇とは 言葉使い（敬語・謙譲語・尊敬語） サロン形式でロールプレイ	
4	接遇試験	筆記試験と実技試験	
1	メイクアップ メイク理論	道具、顔の名称、スキンケア、ベースメイクアップ ファンデーションの種類、スキントラブルテクニック	
2	化粧水～ファンデーション パウダー	ファンデーションの種類、スキントラブルテクニック 色の選び方とテクニック	
3～5	眉・アイシャドー・アイライン	効果と目的、それぞれのテクニック	
6	アイラッシュカーラーとマスカラ	それぞれのテクニック	
7～8	口紅・チーク・シャドー・ ハイライト	効果と目的、それぞれのテクニック	
9	全体のバランス	左右対称に仕上げる	
10	メイクアップ	タイム40分	

回	項目	授業内容	備考
1	ネイル ネイルケア	テーブルセッティング、道具の名称、確認	
2	〃	テーブルセッティング、手指消毒、爪のカット形状 ファイリングの実技	
3	〃	爪のファイリングを相モデルで実技練習 実技練習後学科	
4～6	〃	手指消毒～ファイリング、カラーリング 実技練習後学科	
7	〃	ハンドマッサージ　理論と実技	
8～9	〃	相モデルでケアカラー・カラーリングのトータル練習	
10	〃	ネイル技術の総仕上げ 技術確認	
1～2	アップスタイル アップスタイル	アップ理論 アップスタイルに取り掛かる前のウィッグの仕込み方法 ウィッグの毛髪の梳かし方 （ブラシ、コームの取り扱い方） 頭部各ポイントとバランス	
3	〃	毛髪を一束にまとめる トップ、バックポイント、ネープと位置を変えてまとめてみる ヘアゴムの締め方、スプレーの使用	
4～5	〃	シニヨンを作る ポイントを変えて、また様々なシニヨンを作る ピンの打ち方 面を整える ブラシ、コームの使い方	
6	〃	スキ毛の作り方 スキ毛を使ってボリュウームを出す、整える	
7～8	〃	アップスタイルの基本 夜会巻きスタイルを作る、前髪の整え方	
9～10	〃	アップスタイルの作成	
1	カット ワンレングス	ワンレングス理論 ウィッグのガイドの取り方、作り方 ガイドカット	
2～3	〃	カット姿勢、シザーズの角度、取扱いに注意しながらカット	
4～5	〃	ワンレングスをブローする ブローの基本、ドライヤー、ブラシの取り扱い方	
6	〃	ブローしたワンレングスのチェックカット方法	
7～9	〃	ワンレングスカット＆ブロー	

回	項目	授業内容	備考
1	グラデーション	グラデーションカット理論 グラデーションカットのガイドの取り方	
2～3	〃	基本的なグラデーションカット スライスの角度等に注意しながらカット	
4～5	〃	グラデーションの角度を変えながらカット	
6～7	〃	グラデーションカット&ブロー	
1	レイヤー	レイヤーカット理論 レイヤーカットガイドの取り方、作り方	
2～3	〃	基本的なレイヤーカット	
4～5	〃	レイヤーカット&ブロー	
1	シャンプー	シャンプー理論 シャンプー手順の説明	
2	〃	ウィッグを使って手順練習	
3～5	〃	相モデルで通しで練習 シャンプー後はブロー練習	
6	〃	相モデルで確認しあいながら練習 シャンプー後はブロー練習	
7～10	〃	相モデルでチェックシートを利用しながら 手順、力等の確認をする　シャンプー後は ブロー練習	
11～15	〃	相モデルでチェックしあいながら練習 ヘッドマッサージ、ブロー練習	